望洋荘便り

第５１号
平成２０年
２月発行

旧正月に思う
縄を綯(な)うということを

社会福祉法人りんさく福祉会
理事長　須田　滉

今年の二月七日は旧正月の元日である。一番寒い月でもある。そんな時に、正月に自宅の神棚などに飾るしめ縄を作っていた父の後姿が目に浮かびます。縄というものを今では知らない子供が多いのではないでしょうか。縄跳びとか、縄張り争いなどという言葉に使われる縄である。イネ藁をつかっていろいろの太さのロープ状に綯ったものであります。地元では縄を綯うということを、縄を捩（もじ）る、あるいは縄捩（よじ）りするといっていたものです。当時はあらゆる工事場で荷造りなどに物を縛ったり、結んだりするための縄紐として広く用いられていたものです。縄跳びや戦争ゴッコなどの子供の遊びや、土地の境界線を決めるのにも古くから使われていました。

縄の材料となる藁は父の実家である農家から必要なだけ貰ってきたものです。藁をそのままでは縄を綯うことは出来ず、束になっている藁をすぐり、その後少しの水を含ませて木槌で叩いて軟らかくすることが必要でした。口に水を含んで藁に霧状に吹きかけては湿り気を与え、台の上で万遍なく叩いてしなりのある軟らかい藁にしたものです。

軟らかくなった藁の束を家の中へ持ち込み、鉄瓶を吊るした炭火の囲炉裏の脇に莫座（ござ）を敷き、父がそこに腰をおろしてなわを綯っていたのがつい最近のように思いだします。それも自分がその頃の父の歳に近づいてきたせいでしょうか。右脚を伸ばし、左脚はあぐらをかくように内側に曲げて莫座に座り、綯った縄は右尻の下にひき、次々と新しい藁を継ぎ足して両手の掌面で二本の束のそれぞれの藁を捩るようにして綯ってゆくのであります。ときには、出来上がった縄紐を両足を伸ばし、両足の母趾にその縄を固定し藁を組み込み草履を作り上げていたものです。布切れを編み込んだものは学校や職場でのスリッパ代わりに使ったり、普通のわらじは、野良仕事や磯遊びの滑り予防にも使って重宝がられたものです。何故か、その草履から温もりが感じたのは、手作りの暖かい心がにじんでいたからなのでしょうか。

その様な縄綯いを知り、縄製品を使っていた人たちが望洋荘に多く住んでいます。たかが履物の藁草履とか言わないで、これらのことを話題にして思い出話を聴いて上げるのも良いのではないでしょうか。職員も一緒になってその話しの中から暖かい囲炉裏を囲んでの昔の生活の雰囲気を共に感じあえたら最高ですね。

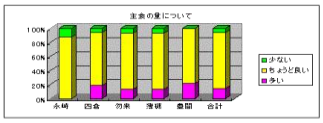
「豆まき」節分

二月三日（日）節分の日に午後二時より「豆まき」を行いました。今年は五名の年女の入居者様が、袴姿で各ユニットを回り、福は内！鬼は外！と元気良く豆まきをしました。ちなみに、今年の年女の方は、明治四五年生まれ（九六歳）の金澤さん、稲村さん、白岩さんと大正十三年生れ（八四歳）の安斎さん、吉田さんでした。偶然にも金澤さんと稲村さんは、誕生日が明治四五年六月二四日と同じで、お二人ともとても元気なおばあさんです。

「嗜好調査」集計結果報告

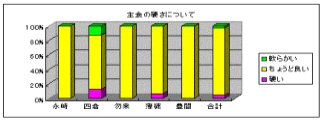
1）主食の量について　（人/単位）

	多い	ちょうど良い	少ない
永崎	0 (0.0%)	7 (87.5%)	1 (12.5%)
四倉	3 (18.8%)	12 (75.0%)	1 (6.3%)
勿来	2 (13.3%)	12 (80.0%)	1 (6.7%)
薄磯	2 (13.3%)	12 (80.0%)	1 (6.7%)
豊間	3 (21.4%)	11 (78.6%)	0 (0.0%)
合計	10 (14.7%)	54 (79.4%)	4 (5.9%)



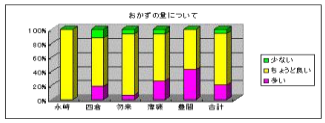
2）主食の硬さについて　（人/単位）

	硬い	ちょうど良い	軟らかい
永崎	0 (0.0%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)
四倉	2 (12.5%)	12 (75.0%)	2 (12.5%)
勿来	0 (0.0%)	15 (100.0%)	0 (0.0%)
薄磯	1 (6.7%)	14 (93.3%)	0 (0.0%)
豊間	0 (0.0%)	14 (100.0%)	0 (0.0%)
合計	3 (4.4%)	63 (92.6%)	2 (2.9%)



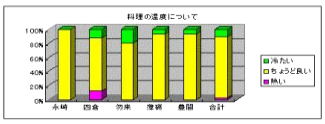
3）おかずの量について　（人/単位）

	多い	ちょうど良い	少ない
永崎	0 (0.0%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)
四倉	3 (18.8%)	11 (68.8%)	2 (12.5%)
勿来	1 (6.7%)	13 (86.7%)	1 (6.7%)
薄磯	4 (26.7%)	10 (66.7%)	1 (6.7%)
豊間	6 (42.9%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)
合計	14 (20.6%)	50 (73.5%)	4 (5.9%)



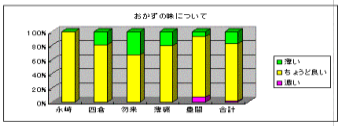
4）料理の温度について　（人/単位）

	熱い	ちょうど良い	冷たい
永崎	0 (0.0%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)
四倉	2 (12.5%)	12 (75.0%)	2 (12.5%)
勿来	0 (0.0%)	12 (80.0%)	3 (20.0%)
薄磯	0 (0.0%)	14 (93.3%)	1 (6.7%)
豊間	0 (0.0%)	13 (92.9%)	1 (7.1%)
合計	2 (2.9%)	59 (86.8%)	7 (10.3%)



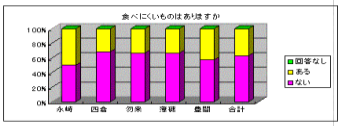
5）おかずの味について　（人/単位）

	濃い	ちょうど良い	薄い
永崎	0 (0.0%)	8 (100.0%)	0 (0.0%)
四倉	0 (0.0%)	13 (81.3%)	3 (18.8%)
勿来	0 (0.0%)	10 (66.7%)	5 (33.3%)
薄磯	0 (0.0%)	12 (80.0%)	3 (20.0%)
豊間	1 (7.1%)	12 (85.7%)	1 (7.1%)
合計	1 (1.5%)	55 (80.9%)	12 (17.6%)



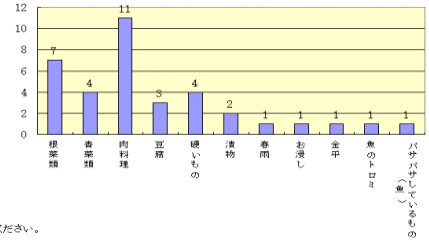
6）食べにくいものはありますか？　（人/単位）

	ない	ある	回答なし
永崎	4 (50.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)
四倉	11 (68.8%)	5 (31.3%)	0 (0.0%)
勿来	10 (66.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)
薄磯	10 (66.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)
豊間	8 (57.1%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)
合計	43 (63.2%)	25 (36.8%)	0 (0.0%)

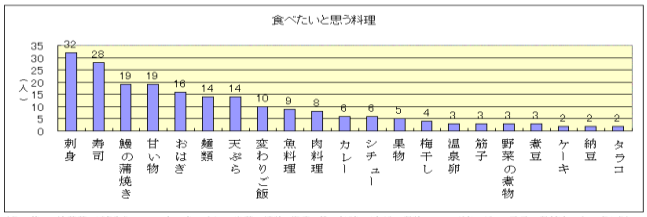


・食べにくいもの

	回答数	比率
根菜類	7	19.4%
青菜類	4	11.1%
肉料理	11	30.6%
豆腐	3	8.3%
硬いもの	4	11.1%
漬物	2	5.6%
春雨	1	2.8%
お浸し	1	2.8%
金平	1	2.8%
魚のトロミ	1	2.8%
バサバサしているもの(魚)	1	2.8%



7）食べたいと思う料理があったら教えてください。



（その他・・・法蓮草のごま和え、ロールケーキ、プリン、自然の漬物、塩辛、桃の缶詰、アカジの煮物、コーンポタージュ、甲目の煮付け、パン：各1名）

「嗜好調査」実施要綱

実施　期間：平成 20 年 1 月 10 日～平成 20 年 1 月 31 日
実施　方法：各ユニットスタッフによる個別聞き取り（回答が困難な方の場合、職員の判断とする。）
調査対象者：全入所者様 68 名（経管栄養・入院者・1 月新規入所者様は除く）
回　答　率：対象者 68 名中 68 名の回答　回答率 100%

《まとめ》

今回は、利用者様の食事に対する満足度や食べにくい物を調査する目的で行いました。結果を見ると、現在の利用者様の食事への考え・思いがよく分かるものとなりました。

＜食事の量に関して＞

ほとんどの方は適量と考えているが、約 15%の方は多いと感じていた。全て女性の利用者様であった。少ないと感じている 4 名中、3 名は食事制限がある方だった。極力、満足いただける食事量に持っていけるよう体の状態を見ながら主食量を増やす等、検討していきたい。

＜主食の硬さについて＞

硬いと答えた３名中２名が常食、1 名が粥の方だった。軟らかいと感じた 2 名は粥の方だった。個人の嗜好もあるとは思うが、硬いと答えた方に関して、咀嚼力の低下も考えられるので、今後注意して見ていきたい。

＜料理の温度について＞

約 10%の方が冷たいと感じていた。特に多かったのが、「味噌汁」が冷たいとの訴えだった。温冷配膳車を使っているので配膳時は問題ないと思うが、あまり熱すぎないよう温度設定してあるので、もしかしたら、ぬるいと感じてしまっているのかもしれない。

＜味付けについて＞

約 17%の方が、味が薄いとの回答だった。しかし、中には「濃いときもあれば薄いときもある」との回答も多くあり、味付けが一定ではなく、まばらになってしまっている事が伺える。人によっては差が出てしまうのかも知れないが、ある程度の味の統一を図れるよう、今後厨房と話し合っていきたい。

＜食べにくいものについて＞

約 36%の方が、何らかの食べにくいものがあることが分かった。一番多かった物は肉であるが、次の「食べたいもの」では、魚料理の次に食べたいものとして入っていて、食べたいけど食べにくいという現状が伺える。今後のメニューの調理法で出来るだけ硬くならないよう、厨房と協力して工夫していきたい。

＜食べたいと思うものについて＞

刺身・寿司という生魚料理がダントツで、続いてメニューにあまり出ない鰻、女性が大半だからか、甘い物が上位を占めている。昨年は、芋煮会の時に刺身を食べていただいたが、とても好評だった。中には月に 1 度食べたいという方もいるので、寒い時期の期間限定ではあるが、行事食として年 2～3 回を目標に提供できるよう、調整していきたい。

最後に、今後も食事中の見回り・声かけを継続し、出来るだけ個人の意見を尊重出来る様、努めたいと思う。そして、入居者様本人だけでなく、ユニットスタッフからの情報も大切にし、より良い食事になるよう、努力していきたい。

管理栄養士 伊沢 真喜子

「噺家さんからの年賀状」其の②

いわき寄席にご出演された落語家さんから、毎年噺家さんらしい賀状をいただいています。その中からいくつかご紹介させて頂きます。

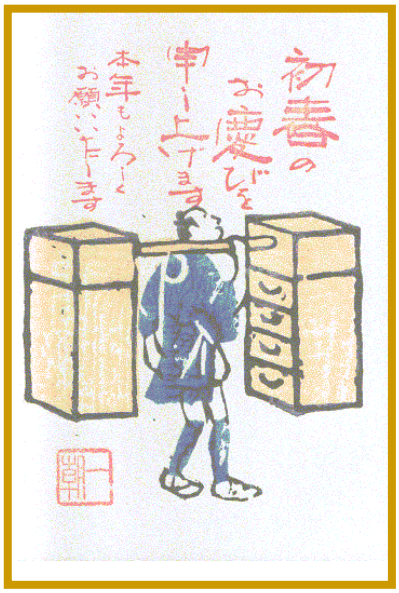
古今亭　志ん橋　師匠

立春　大吉

本年も相変わりませず
どうぞよろしくお願い申し上げます。

古今亭志ん橋師匠は、平成18年1月17日に来荘され、「祝獅子舞」をご披露頂きました。入居者のみなさんは、獅子に噛まれて大喜びでした。

春風亭　一朝　師匠



初春の　お慶びを
申し上げます
今年もよろしく　お願いいたします

春風亭　正朝　師匠

あけまして　おめでとう　ございます
旧年中は一方ならぬお世話をいただき
誠にありがとうございました
今年もよろしくお願い申し上げます
最近Jヴィレッジで落語会始めました。

三遊亭　右左喜　師匠

恭賀新年

旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り
誠にありがとうございました
本年も相変らずよろしくお願いいたします
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます
平成二十年　元旦

三遊亭　とん馬　師匠

明けましておめでとうございます
昨年中は大変おせわになりました
本年もよろしくお願いいたします
平成二十年　元旦

介護老人福祉施設『望洋荘』職員紹介・&コメント集

管理栄養士　伊沢　真喜子

入社してから約半年が経ちました。毎日が覚えることばかりで、あっと言う間でした。また、福祉施設で働くのは初めてであり、分らない事が多く、先輩の方々に助けていただきながら、日々務めております。

私が福祉施設の栄養士になりたいと思ったのは、大好きだった祖父が、五年前に誤嚥性肺炎にかかり入院しました。病院では食事を食べることが出来ず、直接胃に管を通した胃ろうから流動食を流し栄養補給を行っていました。最後は気管切開など様々な治療を施しておりましたが、その後間もなくこの世を去り帰らぬ人となりました。少し前までは、当たり前に食事をして、普通に生活していた人が、食べ物を食べる力が弱まり、段々と衰弱して行く姿を目の当たりにして、改めて食べる事の大切さを、身を持って体験したことがきっかけとなりました。

人間はいつ寿命が尽きるか分りません。定められた寿命がくる直前や口から食べた最後の食事が美味しいと思って頂ければ、少なからず幸せだと私は思います。最後になるかも知れない食事を「おいしかった」と思っていただくために、毎日「おいしい」献立がたてられるように頑張っていきたいと思います。また、経口・経管に関わらず、全ての入居者様の状態に合った栄養管理ができる管理栄養士になれるよう、努力していきたいと思います。

これからも宜しくお願い致します。

後期高齢者医療制度がはじまります

これまで老人保健制度の医療受給者となっている方（七五歳以上の方、六五歳から七四歳で一定の障害のある方）は、それぞれ国民健康保険や健康保険組合などの医療保険に加入し、医療を受けていましたが、平成二十年四月からは、「後期高齢者医療制度」に加入し、医療を受けることになります。

今までの制度との大きな違いは、高齢者の方々全員が一人ひとり保険料を支払い、それぞれが被保険者になる事です。又、左図の様に従来の保険証や医療受給者証や健康手帳が無くなり「後期高齢者医療被保険者証」に一本化されます。入居者様の新しい保険証は、各自ご自宅へ三月中に郵送されますので、届きましたら、早急に望洋荘までお持ち頂けますようお願い致します。

【現行】の老人医療制度

保険証 ＋ 老人保健医療受給者証 ＋ 健康手帳

※この他、「老人保健法」及び「他の法令等」により交付された証書等を提示する場合があります。

【平成20年4月から】の後期高齢者医療制度

後期高齢者医療被保険者証

※ 新しい保険証が平成20年3月中に郵送されます。

※ 保険証は1人に1枚交付されます。

※この他、「高齢者の医療の確保に関する法律」及び「他の法令等」により交付された証書等を提示する場合があります

「後期高齢者医療制度」の保険料は、被保険者全員が頭割りで負担する均等割額と所得に応じて負担する所得割額を合計した金額となります。

均等割額＝一律年間 40,000 円

所得割額＝被保険者の所得の 7.45％

※所得金額により軽減制度があります。

尚、平成20年度は保険料が6ケ月間凍結せれる等の措置がとられますので、後期からの負担になります。納付方法はほとんどの方が年金より天引きとなります。

三月の行事予定

三月一日（土）豊間ユニット　午後二時～
「ひな祭り」
三月二日（日）四倉・勿来ユニット午後二時三〇分～
「ひな祭り」
三月三日（月）薄磯ユニット　午後一二時三〇分～
「ひな祭り」
三月九日（日）永崎ユニット　午後二時～
「おやつバイキング」
三月十一日（火）塩屋岬広場　午後二時～
「フラダンス・バンド公演」Bフラット
三月十六日（日）午前一〇時～
「施設内ショッピング」

【三月のお誕生会予定】

三月四日（火）豊間　鈴木トキ子様（八六歳）誕生会
三月七日（金）豊間　阿部たか様（九二歳）誕生会
三月八日（土）永崎　箱崎イセヨ様（九五歳）誕生会
三月十日（月）永崎　鈴木ふよ様（九二歳）誕生会
三月十二日（水）永崎　東海林うめよ様（九一歳）誕生会
三月十五日（土）四倉　佐久間千代様（八三歳）誕生会
三月十六日（日）豊間　鈴木セン様（九四歳）誕生会
三月二〇日（木）薄磯　中根道也様（八三歳）誕生会
三月二八日（金）勿来　猪狩ハルヨ様（八八歳）誕生会
勿来　熊田昭八様（八一歳）誕生会
豊間　中野サワ子様（八四歳）誕生会

編集後記
『望洋荘』便り
平成二十年二月二十九日発行
発行所　いわき市
平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人　りんさく福祉会
介護老人福祉施設　望洋荘
電話　（0246）55-7373
FAX　（0246）55-7255